

平成28年5月25日

守谷市議会議長 殿

報告者： 堤 茂信 印

議員合同視察・研修報告

標記の件について、次のとおり実施したので報告します。

視察・研修日	平成28年5月25日（水）
視察・研修場所	新潟県三条市
視察・研修項目	スマートウェルネス三条の視察・研修
参加者	守谷市側 会田市長、総務部 須賀部長 議会事務局 菅谷部長、望月係長、槇野主任 谷市議会 梅木議長、市川副議長、松丸議員、伯耆田議員、 佐藤（弘）議員、川名議員、高橋議員、高梨（恭）議員、山 崎議員、寺田議員、山田議員、佐藤（剛）議員、青木議員、 長谷川議員、渡辺（秀）議員、高梨（隆）議員、堤議員、神 宮議員、砂川議員、渡辺（大）議員
	相手側 國定市長、三条市議会 森山議長、市民部 山村課長、地域 経営課 コミュニティ推進係 斉藤係長、福祉課 永井氏、 中村主事、議会事務局 高野次長、柳田氏、他
視察・研修目的	超高齢化社会を見据えたまちづくりに先進的に取り組む三条市のスマートウェルネス三条の推進状況を視察し、来るべき超高齢化社会における市政の在り方を研修する。
視察・研修内容	(1) スマートウェルネス三条の推進状況 (2) 「みんくる」及び「ステージえんがわ」現地視察

視察・研修内容

視察・研修総括 (今後の取組み等)

高齢者の健康維持のためには「歩く」ことが重要だとし、「歩く」きっかけづくりとして、遊歩道の整備や外出機会の創出のための場の提供を行っていることは大変参考になった。外出機会創出のための市民交流の場の提供は、高齢者のみならず市民全般に効果があることから、今後の市政を考える上で大変参考になった。

【概要】

- ・三条市…新潟県の中央に位置する。432 km²（守谷市の約1.2倍）。人口約10万人（守谷市の約1.5倍）。鋳物の町として有名。
- ・スマートウェルネス三条…健康長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区（新潟市、見附市ほか7市共同）に選定されている。

1. スマートウェルネス三条の推進について

(1) 事業内容、課題等について

- ・三条市が目指す姿は、「誰もが、明るく、楽しく、元気よく、健康で幸せに長生きできるまち」づくり。
- ・市中心地域の高齢化率は41.5%であり、ここを中心に活動を推進している（市全体の高齢化率は28.8%）。
- ・課題は、運動に無関心層の7割をいかに行動変容に結びつけるか。
- ・無関心層へのアプローチのためのコミュニティづくりを意識することによって行動変容が促される
- ・推進の柱は、「外出機会の創出」、「社会参画機会の創出」、「地域医療やケア体制の充実」の3つである。
- ・「外出機会の創出」として、この4月にまちなか交流広場「ステージえんがわ」を開設した。また、歩きたくなるような道の魅力づくりとして、「まちなかギャラリー」やゾーン30の導入を行っている。
- ・外出するきっかけづくりとして「デマンド交通おでかけパス」（日平均312人利用、行政負担額月381万円負担）も行っている。300m毎に乗り合い所を設け利用する乗り合いタクシー。
- ・三条マルシェ～ごった市～@ホコテンは年間8回開催しており、これまで延べ90万人の来場者があった。
- ・「社会参画機会の創出」では、学びたい、ボランティアしたい、仕事をしたい人向けにセカンドライフ応援ステーション（総合相談窓口）を設置した。

(2) 健幸マイレージについて

- ・健幸マイレージとは、市民等がボランティア活動やイベント等へ参加し、健幸マイレージ手帳にポイントを貯めると抽選等で、賞品がもらえる制度。
- ・H28年度の予算は年間117.8万円。
- ・H27年度の応募者は962名、応募総数6,305口（当選は150名）であった。
- ・業務は、社会福祉協議会に業務委託（委託費 345万円）している。

2. みんなのまちの交流拠点「みんくる」について

(1) 設立経緯、事業内容について

- ・歴史的建造物（大正時代の元米穀店）を再利用して、H25年3月16日にオ

オープンした。

- ・整備費2300万円。内、国2/3（地域商業再生事業）、市1/3負担。
- ・様々な世代の人々が交流し、その輪を広げられる場所を目指している。
- ・授乳&おむつ替え室、お休み処&作業所、ベーカリー&カフェ
- ・「みんくる」では、創業支援としてチャレンジショップの場を提供したり、創業塾pontekia（逆から読むと「アキテンポ」）を行っている。
- ・創業者向けに新規出店事業補助金テンポアテンポの制度も設けている。
- ・運営は市から全額補助金（約1300万円）として一ノ木戸商店街に支出し、一ノ木戸商店街から9割以上が一般社団法人マドンナ・ワークスに事業委託している。

3. 質疑応答

Q) 「ステージえんがわ」はどのようなことに使われているのか。

A) 市民が自由に使える施設で、紙教室、将棋などに使われている。持ち込みも自由で、会合や飲食にも使われている。

Q) どこかに業務委託しているのか。

A) 市の直営だが、現地に市の職員はいない。使用申請書もなく、電話で申し込みがあれば自由に使えるようになっている。ただ、食堂は外部の業者が入っているが、市では光熱水費のみ負担しており、委託費は払っていない。維持管理費は予算ベースで年間216万円。

Q) 「ステージえんがわ」の建設費はいくらか。

A) 1.3億円。

Q) デマンド交通のエリアにバス路線はないのか。

A) バス路線はある。バスとタクシーの中間的な負担を目安にし、バス事業者との共存共栄を目指している。デマンドの停留所は300メートルごとに設置してある。

Q) 「みんくる」の経済効果は如何ほどか。

A) 経済効果として、歩行者数は2倍程度にはなっている。

3. 施設見学について

- ・「みんくる」及び「ステージえんがわ」の現地視察を行った。

以上